

一般質問

・今後の下水道(浜岡地区)・
合併処理浄化槽(御前崎地区)の
維持管理費について



丸尾 忠

問

川をきれいにしよう、美しい海を守ってという下水道事業が始まり、浜岡地区では平成18年にすべての地区の排水事業が完了しました。

老朽化に伴う更新事業が増大するなど経営環境は厳しさを増してまいります。

また、御前崎地区では現在、合併処理浄化槽への転換を進めても

本市では、令和元年度から地方公営企業法を適用し、経営の健全化に向けて取り組んでおります。

毎年市では下水道事業だけでも6億円を繰入れています。下水の使用料、御前崎地区の合併処理浄化槽の補助金、またこれにかかる毎年の経費など、今後両地区内で納得のできるような料金、そして下水道事業が市の財政を圧迫しないように改善していくには何から進めるのがよいか伺う

今後もしきれいな水を守る生活環境の整備を持続していくためには、事業の効率化、経営基盤の強化を図らなければなりません。

現在では、処理区域内の整備は概ね完了し、市民生活にとって欠かせないライフラインとなっております。しかしながら人口減少による料金収入の減少、施設などの

引き続き、地震対策事業や長寿命化を進め、将来にわたり、安定した継続的な事業経営を図り、快適な生活環境の整備に努めてまいりますと考えております。

一般質問

・第3次御前崎市男女共同参画行動計画
後期実施計画について
・浜岡原発と御前崎市の未来を、次世代が
のびのびと学び語り合える環境整備について



齋藤佳子

問

第3次御前崎市男女共同参画行動計画 後期実施計画の主な変更点は

問

浜岡原子力発電所と御前崎市の歴史については

答

LGBTQに対する理解やパートナーシップ制度の環境整備といった、性の多様性への理解に対する項目を新たに追加しました。

答

昭和42年に当時の浜岡町が原子力発電所を受け入れ、54年余の歳月が流れました。以来、東海地域に必要な電力を供給してきたことで、中京圏の「ものづくり産業」に大きく貢献してきました。

問

パブリックコメントが多く寄せられた理由は

問

この地域の飛躍的な発展を図り住民の幸せに結び付けようと努力してきた先人たちの想いは、脈々と受け継いでいかなければならないと考えています。

答

26件のご意見をいただきました。市民の皆様の関心が高いことの表れであろうと考えています。

問

今後の計画の実施については

問

浜岡原発と御前崎市の未来を次世代がのびのびと語り合える環境整備については

答

市民、地域、学校、企業など、さまざまな主体と連携・協力して取り組んでいく必要があります。そのためには、市が率先して積極的な取り組みを進めるとともに、市民への啓発を行い行動計画の着実な推進に取り組んでいきます。

答

私たちの暮らしたとエネルギーについては、まさに次世代を担う若い方々には自分事として考えていただくことは非常に重要なことです。「学び、考え、意見交換する機会」をもつことは非常に有意義であると考えています。